

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立所沢高等学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1学年3クラス（120名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの在り方と実施の意義について学び、～大会スローガンを作ろう～
5 取組内容	<p>(1) 東京オリンピック・パラリンピックの公式スローガンを紹介し、その意味や背景を知る。</p> <p>(2) オリンピック・パラリンピックを実施する目的について、ブレインストーミング法を用いて考える。</p> <p>(3) クーベルタンのオリンピズムの精神や考え方に触れる。</p> <p>(4) オリンピックの魅力、日本で開催する魅力について、ブレインストーミング法・KJ法を用いて考える。</p> <p>(5) これまでの内容を踏まえ、2021年オリンピック東京大会のスローガンをグループで考える。</p> <p>【考える際の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループとして伝えたい魅力は何か ・誰に向けて伝えていくか <p>(6) 各グループのスローガンを発表し、各自がその中から気に入ったスローガンとその理由についてまとめる。</p>

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックが2021年に延期となる中、その目的や歴史を改めて見つめなおすことができた。 ・オリンピック・パラリンピックの魅力を日常生活を共にする仲間と考えることによって、オリンピック・パラリンピックの意義を共有するとともに、スポーツのもつ素晴らしさを感じ取ることができた。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング法やKJ法を用いることで、自らの意見を出しやすくするとともに、互いの意見を視覚的に共有することで、グループとしての方向性をまとめやすくした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な学習を進めるためには、授業時間数の確保に工夫が必要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度は延期となったオリンピック・パラリンピックが開催されるため、より身近な内容として引き続き授業を実施したい。</p>

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立所沢高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	1学年男子 (174名)
3 展開の形式	<p>(3) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(4) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	ラグビーのルールを身につけるとともに、本校で通常取り組む15人制ラグビーとオリンピック種目である7人制ラグビーの特徴をそれぞれ知ること、ラグビーに対する興味・関心の向上を目指す。
5 取組内容	<p>本校では、例年、1学年の保健体育の授業においてラグビーを行っている。基礎的なパスやキックなどから始まり、モールやラックなどラグビー特有の動きなどを習得しながら、最終的にはクラス対抗戦を行い、身につけた技量を発揮する場としている。</p> <p>今年度は、本校で通常取り組む15人制ラグビーに加えて、オリンピック種目である7人制ラグビーについて、グラウンドの使い方やラインの作り方、ボール回しの戦術などについて学習する機会を設定した。</p>



<p>6 主な成果</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、接触プレーの多いラグビーについては実施の開始時期が遅れた。そのため、クラス対抗戦まで実施することができなかった。</p> <p>しかし、オリンピック種目である7人制ラグビーについて学習したことによって、通常の15人制ラグビーとは違ったグラウンドの使い方や戦術について学ぶことができ、それによって、普段の15人制ラグビーの戦術の幅を広げることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>本校にはラグビー部はないが、1学年の保健体育の授業で伝統的にラグビーを扱っており、クラス対抗のラグビー大会も通算して47回実施している。自国開催のラグビーワールドカップ2019に引き続き、今回のオリンピック・パラリンピック教育に関連した授業を展開させたことで、生徒のラグビーの授業に対する意欲を年々向上させていくことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今年度はラグビーに充てる授業時間数が例年より少なかったため、もっと時間をかけて7人制ラグビーのよさや魅力を伝えたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>例年程度のラグビーの時間数を確保して、7人制ラグビーについて引き続き取り上げていきたい。</p>